

熊本県立美術館開館50周年記念特別展

わたしたちの
熊本県立美術館開館50周年記念特別展
Renoir and Japan ルノワール

日本中のルノワール作品が、ここ熊本に集結——

熊本県立美術館では下記のとおり「熊本県立美術館開館50周年記念特別展 わたしたちのルノワール」を開催します。報道各社におかれましては、何卒お取り上げの程お願い申し上げます。

会 期： 令和8年（2026年） 7月18日（土）－ 9月13日（日）

※月曜休館（祝日の場合は開館し、翌平日休館）

※ただし、8月10日（月）、9月7日（月）は特別開館

場 所： 熊本県立美術館【本館】 第1展示室 （熊本市中央区二の丸2番）

観覧料： 一般 1,800（1,700）円、大学・専門学生 1,300（1,200）円、
高校生 1,000（900）円

※中学生以下無料 ※()は前売・20名以上の団体料金

※障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をお持ちの方は、手帳の原本、もしくはミライロIDの登録画面を提示いただくと無料

※平日限定のお得な前売チケットを販売します（販売期間：7月17日まで）。

詳しくはHPをご確認ください。

※別紙1・2（展覧会チラシ）もご参照ください。

熊本県立美術館【本館】〒860-0008 熊本市中央区二の丸2番

電話： 096-352-2111 / FAX：096-326-1512

担当： 学芸普及課 香月（展示担当者） / 総務企画課 三宅

このイベントに関する
お問合せ

Renoir and Japan

熊本県立美術館 本館
Kumamoto Prefectural Museum of Art

わたしたちの

熊本県立美術館開館50周年記念特別展

We ♥
Renoir

2026.7.18sat — 9.13sun

会場=熊本県立美術館 本館・第1展示室 開館時間=9:30~17:15 (入館は16:45まで)
休館日=月曜日 (祝日の場合は開館し、翌平日休館) ただし、8/10 (月)、9/7 (月) は特別開館

主催=熊本県立美術館 TKUテレビ熊本

特別協力=公益財団法人ボークラ美術振興財団 ボークラ美術館 協力=株式会社トーダ 株式会社リョーユーパン 企画協力=TNCプロジェクト

後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス 熊本日日新聞社 熊本リビング新聞社

ピエール=オーギュスト・ルノワール
《胸に花を飾る少女》(部分) 1900年頃 当館蔵

特別
協賛



うるおいある未来のために。
肥後銀行
Higo Bank

協
賛

磯崎工務店
不動産のウチダ

健康にアイデアを
meiji
明治アニマルヘルス株式会社



熊本県立美術館開館50周年記念特別展

会期 2026年7月18日(土)～9月13日(日)

わたしたちのルノワール

観覧料＝一般 1,800円(1,700円) 大学・専門学生 1,300円(1,200円) 高校生 1,000円(900円)

※()は前売・20名以上の団体料金。※障害者手帳をお持ちの方無料。

| 中学生以下無料 |

※平日限定のお得な前売チケットを販売します。詳しくはホームページをご確認ください。

ポーラ美術館蔵

ピエール＝オーギュスト・ルノワール

(上)《髪がざり》1888年

(下)《レースの帽子の少女》1891年



Renoir and Japan

19世紀を代表するフランス印象派の画家、ピエール＝オーギュスト・ルノワール。明るく幸福な雰囲気に満ちたその作品は、ここ日本においても長らく愛されてきました。なぜルノワールはこれほどまでに日本で親しまれてきたのでしょうか。その理由のひとつは、その作品を日本各地で“実際に見ることができる”という点にあるのかもしれませんが。

例えば、熊本県立美術館所蔵の《胸に花を飾る少女》(1900年頃)は、開館もない昭和54年度に購入され、以来、長らく熊本の人々に親しまれてきました。同様に、国内にあるルノワール作品の多くが、戦後、日本各地に公立/私立美術館の設立が相次いだ昭和から平成期にかけて、各美術館の目玉作品となるべく収蔵されています。

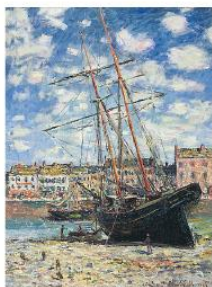
本展覧会では、明治、大正期に日本にもたらされたルノワール作品や、ルノワールに多大な影響を受けた日本の洋画家たちの作品を紹介し、ルノワールの芸術が日本の美術界にいかなるインパクトをもたらしたかをひも解きます。さらに、昭和、平成期を中心に日本各地の美術館、企業等に収集された貴重なルノワール作品を一堂に集め、遠い異国の画家であったルノワールがわたしたち日本人にとって親しみ深い画家となっていくまで、いわば、「わたしたちのルノワール」になっていくまでの道のりを辿ります。



ひろしま美術館蔵

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《パリの審判》1913-14年頃

諸橋近代美術館蔵

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《モーリスとドニ夫人》1904年梅原龍三郎
《黄金の首飾り》1913年
東京国立近代美術館蔵クロード・モネ
《海辺の船》1881年
東京富士美術館蔵ポール・セザンヌ
《水の反映》1888-90年頃
愛媛県美術館蔵

印象派の画家たちの作品も
ルノワールに学んだ日本の洋画家たちや



アーティゾン美術館蔵

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《水浴の女》1907年頃

群馬県立近代美術館蔵

ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《読書するふたり》1877年

関連イベント

イベントの詳細については、各開催日の
一か月前をめどにホームページにてお知らせします。

三浦篤氏(大原美術館長・本展監修者)

による特別講演会

日時：7月18日(土) 13:30～15:00

会場：文化交流室

参加方法：事前申込制(要観覧券)

ワークショップ・みんなでアート

「ルノワールカラーで花飾りを作ろう!」

講師：名知聡子氏(画家)

日時：7月25日(土) 14:00～16:00

会場：文化交流室、第1展示室ほか

参加方法：事前申込制(要観覧券)

手話通訳付きギャラリートーク

日時：7月30日(木) ①11:00～②14:00～

会場：第1展示室

参加方法：事前申込不要(要観覧券)

ワークショップ・かぞくでアート

日時：8月9日(日) 14:00～15:30

会場：文化交流室、第1展示室ほか

参加方法：事前申込制(要観覧券)

ミュージアムセミナー

日時：8月29日(土) 14:00～15:00

会場：文化交流室

参加方法：事前申込不要



熊本県立美術館 本館

同時開催 細川・美術館コレクションII
会期：7月10日(金)～9月13日(日) 会場：本館・第2展示室〒860-0008 熊本市中央区二の丸二番 Tel:096-352-2111 <https://www.pref.kumamoto.jp/site/museum/>

日本中のルノワール作品が、ここ熊本に集結